

KDJ Monthly Information

2026 **Jan.**



**謹賀
新年**



「見える化」で差がつくセキュリティ対策

～セキュリティの専門家が選ぶ「LANSCOPE」の実力～

株式会社 三城 様 さんじょう (北海道札幌市)

三城様は、お客様のビジネス成長を支えるオフィスの総合商社。近年ではITシステムやDX関連の提案にも注力されています。今回インタビューに応じてくださったITS推進室の境一誠室長は、総務省主催セミナーの講師を務めるセキュリティの専門家。本記事では、境室長がプロの視点で選び、お客様にもおすすめている「LANSCOPE」について、取り扱いの経緯、実績、そしてセキュリティ提案のコツをお届けします。



株式会社三城 ITS推進室 室長 / 境 一誠 様

現場経験が導いた「サイバーセキュリティ」の視点

もともとサービスとして三城に入社しましたが、時代の変化に伴い、複雑化してきたお客様の課題やトラブルにワンストップでお応えするため、サービスと営業を両立する「二刀流」で活動を始めました。お客様先のトラブルは、機器よりもPCやネットワーク関連のものが増え、ウイルス感染などのリスクも顕在化していきました。そこからサイバーセキュリティ分野に深い関心を持ち、現在はセミナーやご提案を通じて、地域中小企業の皆様の課題解決を支援しています。



中小企業セキュリティ対策ソリューションの模索

当社では、経産省による、サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度（仮称）の開始や、厚労省の医療機関向けガイドライン改定などの情報をもとに、お客様にIT資産管理やログ管理の重要性をお伝えしています。KDJの担当者にも相談しながら中小企業が導入しやすいソリューションを色々と探した結果、たどりついたのが「LANSCOPE」です。

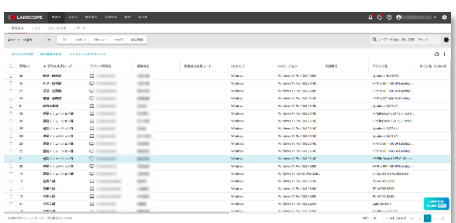


パートナーナレッジサイトに販促資料掲載中！

簡単に低コスト！LANSCOPEの「使える」ポイント

LANSCOPE エンドポイントマネージャー クラウド版（以下LANSCOPE※）は初期導入が簡単です。他社商品はオンプレミス型で多機能なものが多く、設定やサーバー運用の管理者が必要ですが、LANSCOPEはUSBを挿してクライアントツールをインストールするだけで、セキュリティ対策に必要な資産情報やログが自動的に管理画面に反映され、管理者不要の運用が可能です。1クライアントあたり月額500円（税別）から運用可能で、少数・低コストでスタートすることができます。

▼LANSCOPE エンドポイントマネージャー クラウド版の管理コンソール画面



LANSCOPEを通じて、お客様が持つPCやスマホ、タブレットなどのIT資産のデバイス名やOS情報、メモリ状況やログ情報が把握できます。私たちはその情報をもとに、デバイスのアップグレード(Windows 10から11へのPC入れ替え)やDXの推進など、顧客の現状に応じた追加提案を行うことも可能になります。

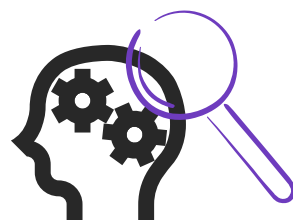
また、不明点があればKDJさんに相談できる点も魅力です。担当のKDJソリューションサポート課の皆さんには初提案以来さまざまな相談に乗っていただいています。「簡単」「安価」「サポート」が揃っていることと、KDJさんとの信頼関係が、この商材を大々的に取り扱う決め手となりました。

※開発・提供：エムオーテックス株式会社

※LANSCOPEおよびLANSCOPE エンドポイントマネージャーは、エムオーテックス株式会社の商標または登録商標です。

2026年度開始予定の制度対応に備えた「提案のコツ」と「顧客ニーズの引き出し方」

法規制や「セキュリティ対策評価制度（仮称）」への対応ニーズが高まる今、準備を進めることで、顧客のコンプライアンス対応を支援でき、他との差別化につながります。



セキュリティ対策評価制度（仮称）とは？

セキュリティ対策評価制度（仮称）とは、サプライチェーン全体のセキュリティ強化のために、企業のセキュリティ対策の成熟度を可視化する仕組みです。本年4月に「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度構築に向けた中間取りまとめ」を経済産業省が公表しました。今後、実証事業等を通じた評価スキームの具体化や制度の利用促進のための施策の検討等を進められ、2026年度中に制度が開始される見通しです。



ロードマップを使った顧客へのセキュリティ提案

2026年からのセキュリティ対策評価制度（仮称）に対応するため、三城では「セキュリティ対策ロードマップ」を活用し、必要な対策を段階的にお客様にご案内しています。ロードマップでは具体的に、ウイルス対策ソフト導入（ステップ1）、UTM等の出入口監視（ステップ2）、エンドポイントの振る舞い検知・資産管理（ステップ3）、社員教育（ステップ4）、バックアップ（ステップ5）という段階を提示し、提案を行っています。



お客様からビジネスパートナーとして選ばれる存在に

このような取り組みを通じて、お客様に単なるモノ売りではなく、ビジネスパートナーとして認知し選んでいただくことを目指しています。IT資産管理ツールを活用し、デバイスの故障対応やコンサルティング、ITサポートメニューも提供していますので、継続的な関係構築を図りつつ、ロードマップを活用してお客様のセキュリティ対策のレベルアップを支援しています。

一方、三城にとっても、複合機のカウンター収益が減少傾向にある中で、IT資産管理ツールのライセンス収益は新たなストックビジネスの柱として欠かせないものとなっています。可能なら、ぜひ実際に自社にLANSCOPEを導入してみてください。提案する私たちがその良さを知ることこそが、提案力アップの近道になります。



総務省お墨付きのセミナーをのぞき見！

中小企業の経営者向けに、専門用語を避け、分かりやすくユーモアを交えた境様のサイバーセキュリティ対策セミナーアーカイブは[こちら](https://www.sanjoh.ne.jp/sanjoh-media/2648/)から！ <https://www.sanjoh.ne.jp/sanjoh-media/2648/>

境様より販売パートナーの皆様へ

私のおすすめは、自社の扱う商材に合わせたロードマップを作成すること。これを社内全員で共有することで、提案レベルの担保や底上げができるようになります。「お客様がサイバーインシデントで事業をとめないように！」という使命感をもって、ぜひお客様状況に応じて「このレベルまで対策してほしい」と提案してみてください。

企業情報 株式会社 三城

sanjoh

〒060-0052 札幌市中央区
南2条東3丁目10番地
三城ビル